



チャレンジの夏にしませんか？

7月8日(火)、マルチメディアルームで中高合同の講演会(Career Well-Being Forum)が開催されました。昨年に発生した能登半島地震取材した北陸中日新聞記者である、脇阪憲さんにお越しいただき講演してくださいました。現地での当時の取材経験や、記者としての仕事のやりがいについて語ってくださいました。



新聞記事がどのように作られていくかも説明してくださいました。

「なぜ、新聞記者になったのか？」

脇阪さんは、中・高で野球をされており、新聞は野球の試合の記事を読むぐらいだったそうです。しかしそこから少しずつ他の記事に興味が出てきて、次第に世の中で起きている真実や現実を、正しく伝えられるのは記者であるという思いを大学生時代に強く感じるようになり、この仕事を選んだそうです。

仕事を選ぶきっかけは、人それぞれです。何気ないことや偶然の出会いなどもきっかけになることがあります。

夏休みはサマースクールを始め、普段は見られない体験や、話を聞く機会があります。ぜひ参加してみても、せっかくのこの夏休みを「チャレンジの夏」にしてみてもいいでしょう。

進路相談室には、これから行われるキャリアに関わるイベントや応募などのチラシやポスターも貼られています。ぜひ参考にしてください。

進路相談室をのぞいてみよう！



今回の講演が新聞で紹介されました！
(2025/7/9 中日新聞朝刊)

